



鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築工事 実施設計（概要版）

アックス・あべ・イシイ設計共同企業体

建築課・朝日庁舎総務企画課・消防本部総務課

鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築工事の実施設計について

建築課
朝日庁舎総務企画課
消防本部総務課

基本設計の設計方針・施設設備の整備方針に基づき、工事の実施に向けた詳細な設計を定める実施設計が完了しましたので、新庁舎供用開始後の活用方針とともにお知らせいたします。今後は、実施設計に基づき工事を進めて行くとともに、活用方針に基づく新庁舎の活用に向けた取り組みを進めていきます。

基本設計 設計方針

耐震性を確保した地域防災拠点として、庁舎と朝日分署を合築し、災害時の連携機能が向上する設計とする。また、被災時でも必要なエネルギーを供給できる機能を確保し、司令塔として必要な行政機能を保持し、安心安全を支える場を目指す。

ワンストップサービスを拡充させるため、窓口カウンターを集約し、利便性の向上を図る。合わせて、来庁者がわかりやすいレイアウトを実現し、立ち寄りやすい場所を目指す。また、対話による連携・協働の拠点として、打合せ用の可動ブースや様々な活用を目的とした、多目的スペースを計画する。

地域の森林資源を活用し、庁舎棟を木造建築とするとともに、木質チップボイラー(チップボイラー)を導入し、床暖房等として活用する。来庁者が安全に立ち寄れるように雪対策に配慮した設計とする。また、鶴岡市ゼロカーボンシティ宣言の推進のため、省エネに配慮した設計とする。

基本設計 施設設備の整備方針

- ・**周辺機能の集約**・・・庁舎と分署の合築に加え、関係団体を集約する
- ・**会議室兼災害対策本部室**・・・可動式仕切りにより多用途の利用を目指すとともに、被災時には災害対策本部室として司令塔機能を確保する
- ・**太陽光発電(ソーラーパネル)**・**自家発電設備・蓄電池**・・・再生可能エネルギーの活用を目的として、ソーラーパネルを庁舎南側の壁面に設置し、被災時の電源を確保し庁舎機能を維持する
- ・**マンホールトイレ**・・・災害応急対策の一つとして、朝日分署の車庫に2基設置する

- ・**ワンストップサービスカウンター**・・・同種部門を一連のカウンターに集約し、来庁者が一箇所の窓口で複数の手続きが可能なワンストップサービスを提供する
- ・**多目的スペース**・・・庁舎正面に、対話や協働の拠点として、打合せ用の可動ブースやバス待合スペース、コワーキングスペース等の活用を目的とした、執務時間外も使用可能な空間を整備する

- ・**チップボイラー**・・・木質バイオマス棟を整備して、チップボイラーによる温水循環により、床暖房等として活用する
- ・**雪対策**・・・庁舎正面玄関は、積雪時も安全に来庁できるように、車いす駐車場・駐輪場を併設した、屋根付きのエントランスを整備する
- ・**ZEB Ready**※・・・鶴岡市ゼロカーボンシティ宣言の推進のため、ZEB Ready仕様の省エネに対応した断熱材・サッシ・空調等を整備する
※基準一次エネルギー消費量(空調・換気・照明等のエネルギー消費)から50%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物
- ・**太陽光発電(ソーラーパネル)(再掲)**

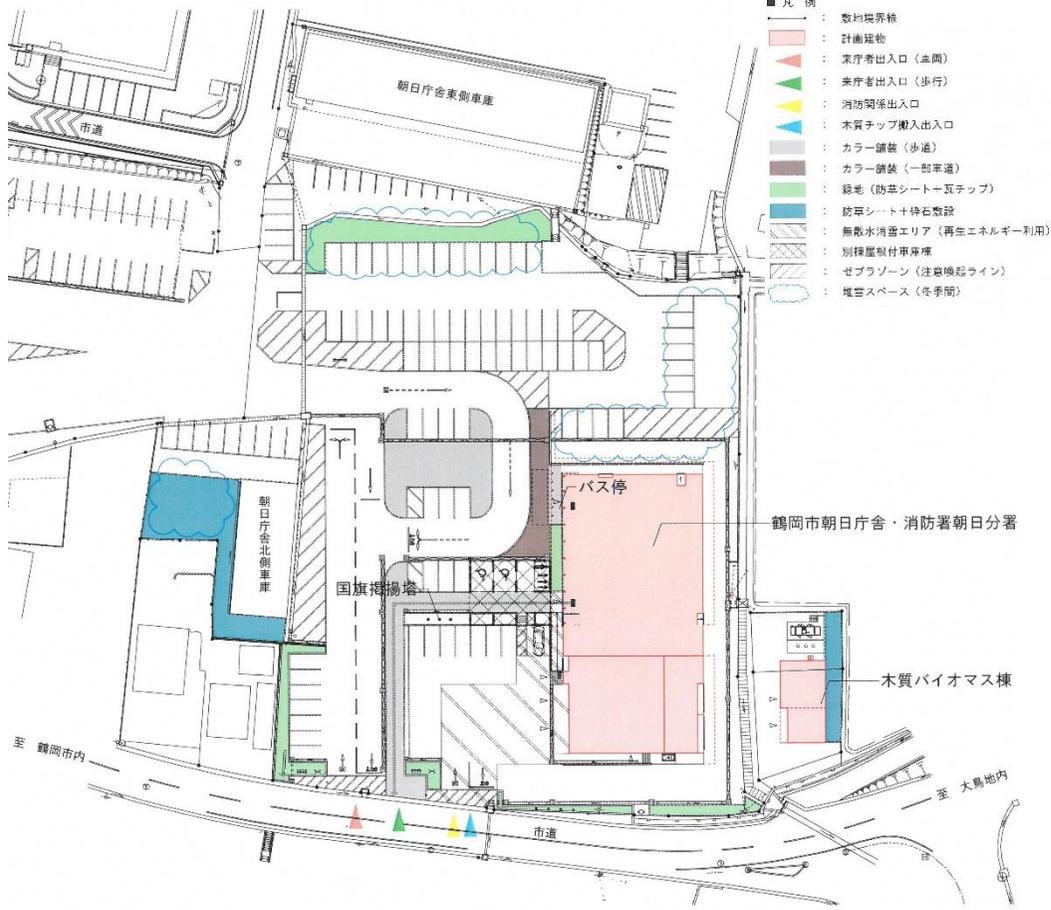
実施設計 施設設備の概要

- ①庁舎と分署を合築し、関係団体の入居スペースを配置
- ②平常時には可動式仕切りにより4分割可能な会議室として利用することができる会議室兼災害対策本部室を配置
- ③太陽光発電設備、自家発電設備及び蓄電池設備(リチウムイオン電池)を設置
- ④分署の車庫にマンホールトイレを2基設置
- ⑤同種部門を1箇所に集約して配置
- ⑥庁舎正面に、可動家具や可動パーテーションにより目的に合わせたレイアウトが可能な多目的スペースを配置
- ⑦木質バイオマス棟を整備し、1階への床暖房と庁舎正面通路の一部、消防車両動線への融雪を設置
- ⑧庁舎正面玄関へのアプローチには、車いす駐車場・駐輪場を併設した、屋根付きのエントランス通路を整備
- ⑨鶴岡市ゼロカーボンシティ宣言の推進のため、ZEB Ready※¹の基準に適合する省エネに対応した断熱材・サッシ・空調等を整備※²
※¹ 基準一次エネルギー消費量(空調・換気・照明等のエネルギー消費)から50%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物
※² BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)による「ZEB Ready」の認証を取得予定

新庁舎供用開始後の 活用方針

- ・デジタルを活用した過疎対策・中山間振興の先導的役割を担い、新しいサービスモデルの検証を実施
- ・デジタルで複数拠点を空間接続する地域の接続拠点として、住民サービスのカバーエリアの維持・拡大を実現
- ・地域課題の解決に向けた市民・各団体・市の「対話」の場として、「協働」の機会を創出
- ・災害に対するレジリエンスの強化及び行政のペーパーレス化、フリーアドレス化に向けた先導的事業の実施

配置計画図



完成イメージ



計画概要

[敷地面積] 9,446.76㎡ [構造] 木造、鉄筋コンクリート造

[建築面積] 1,381.80㎡ [延床面積] 2,148.25㎡ (棟・用途別床面積：下表のとおり)

棟	庁舎・消防棟		屋根付駐車場棟	バイオマス棟	
	庁舎	消防分署	駐車場、駐輪場	木質チップボイラー	
用途	1階	691.28	243.20	110.50	91.60
	2階	764.33	219.28	-	-
	PH階	28.06	-	-	-
	合計	1483.67	462.48	110.50	91.60

工事スケジュール (概略)

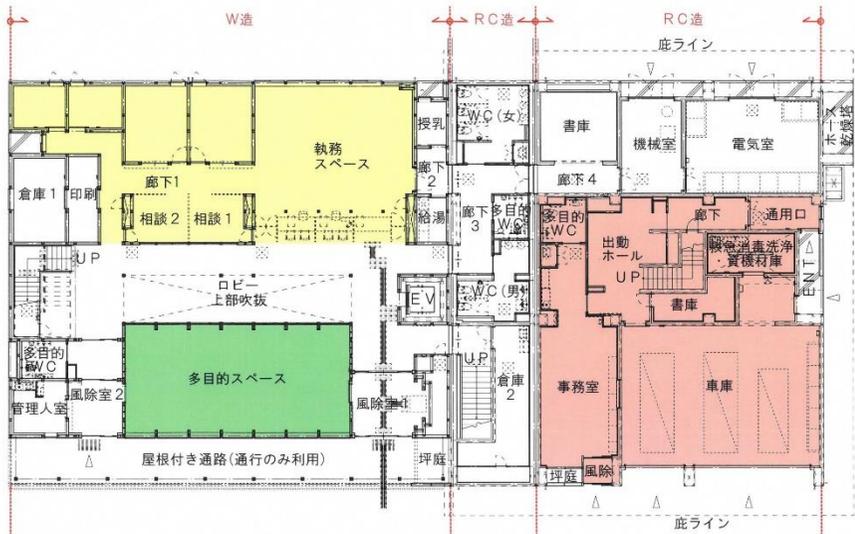
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
1期	敷地内解体工事	→		
2期	庁舎・消防分署新築工事	→		
	付帯外構整備工事	→		
3期	旧庁舎等解体工事及び外構整備工事	→		
		→		→ 竣工

引越シ 新庁舎開庁

各階平面図

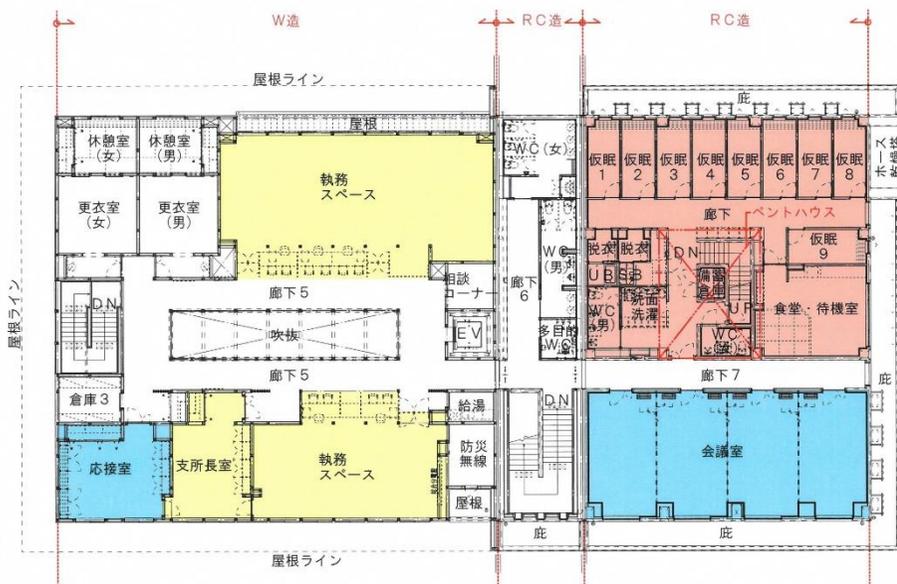
完成イメージ

1階



- 凡例
- 黄色 : 庁舎 (執務スペース)
 - 緑色 : 庁舎 (多目的スペース)
 - 青色 : 庁舎 (会議室等)
 - 赤色 : 消防エリア

2階



1階 (庁舎エリア)

市民と行政のコミュニケーション・交流の起点となるロビー

鶴岡産木材による梁・壁材等を表にした内装

2階 (庁舎エリア)

チップボイラーによる暖気循環のための庁舎エリア中央に位置する吹抜

